



こさかだより

未来立憲民主ちば 千葉市議会議員 小坂 さとみ
《令和4年第3回定例会報告書 2022年11月発行》

Vol.8

—市民と共にまちづくり—

緑と水辺のまちづくりについて

千葉市基本計画で宣言 ——— 緑と水辺をまちの基盤構造のひとつと位置づけ自然が有する多様な機能をまちづくりに活かす

『地域（稲毛区）の現状』 {
・ 穴川の森林…大規模住宅開発
・ 萩台農地…宅地開発



市民の不安

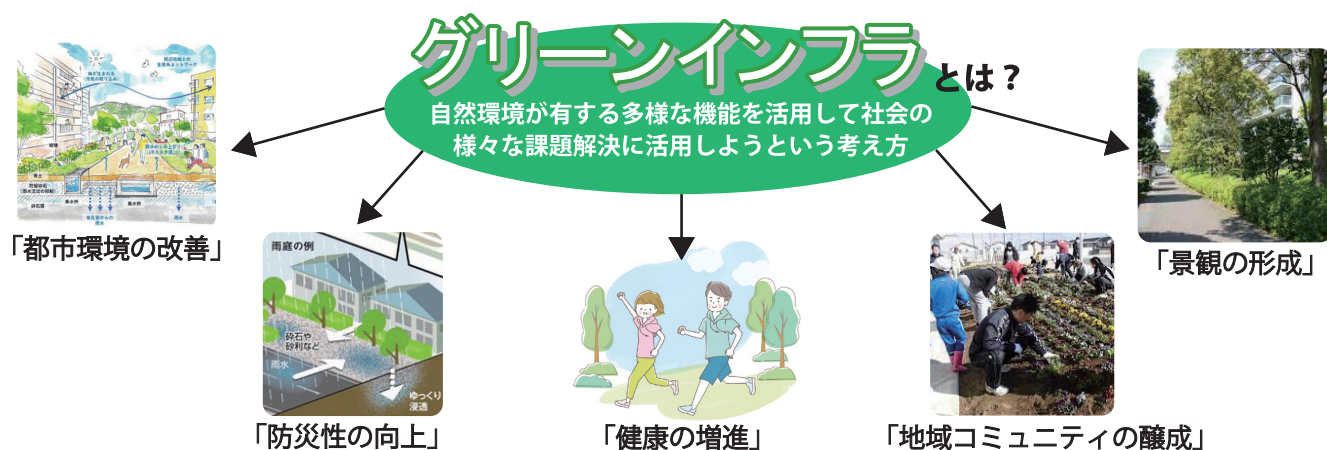
地主の所有地売却や開発に口を出せる立場でないことを理解するが・・・
人口減少、空家が増加する現状において、これ以上、新しい住宅を開発していく必要があるのか？一度破壊された自然は元には戻らないのに？

小坂の問い

地域の緑地減少は明らか。緑と水辺をまちの基盤にして自然が有する用な機能をまちづくりに活かす戦略は？

市の返答

本市の残された自然環境を **グリーンインフラ** として活用し、「持続可能」な潤いのある都市構造の形成を目指す。



グリーンインフラを拡充・充実させる事で **5つの効用** が発揮！

《千葉市が取り組んでいるグリーンインフラ》

千葉駅ビルなどで屋上壁面緑化

歩道の透水性舗装や地中へ雨水を浸透させる浸透柵の設置

小坂の
要望

！ 残された地域の緑地を“市民と共に” 守る取組も！

自転車政策について

2022年6月1日、2日

◎千葉市は自転車の安全利用を働き掛ける「街頭啓発」を実施

場 所 県立千葉女子高校付近

参加者 千葉西警察・交通安全協会・小中台小の先生・女子高校生徒

生徒さんの声：

自分自身も自転車走行ルールを意識する様になった。



小坂の 評価

！“市民と共に”の視点で取り組み。市民からの評価も高かった。

自転車の安全走行は、全市民の関心事。

市が市民と共に安全走行を働きかける取組に市民からは親しみと共感の声！

小坂の提案

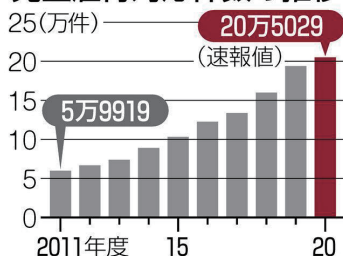
サイクリングマップのコンテスト

地域を知る市民が市内の隠れた名所や名店を絡めてサイクリングを楽しむ
マップコンテストは自転車に乗る人、乗らない人も楽しみながら自転車を楽しめる。



里親について

児童虐待対応件数の推移



虐待件数は 20 万件超え
9年前の約 3.5 倍に！

国の方針

児童養護施設等への入所ではなく、
家庭的養育（**養育里親**）での養育
を推進。

『**養育里親**』とは？…養子縁組を目的とせず、保護者が子どもを引き取れるようになるまでまたは子どもが自立するまで等、一定期間養育します。

『市の里親募集と現状』…単身者、共働き夫婦、高齢者も可能としているが実際にはハードルが高い！

➡体力、時間の融通がきかないなど

➡しかしまだ児童養護施設や乳児院で生活している児童は **105** 人！

小坂の 提案

！ 養育里親を増やすには、
社会変化に応じ里親を受けやすい環境作りが必要！

【一時里親】 …週末や短期で児童を預かる制度

【グループ里親登録】 …単身者・高齢者でグループで里親になれば互いの負担を補って
児童を預かることができる➡まさに地域で子どもを育てる！

今、社会を取り巻く課題はあまりにも多く、そして複雑化しています。それらを解決するには地域の力と共に、が重要ではないでしょうか。地域の方々と行政の皆さまが有機的に活躍できる環境づくりこそ、実現されることを期待しております。

〈市政に関するご意見をお寄せください〉

☎ 090-8534-8723

✉ sk.kosaka@gmail.com

【事務所】千葉市稲毛区柏台1-4-603

http://www.kosakasatomi.com

